

# 宗教学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
宗教学概論	人類精神史としての宗教史	2	山田 仁史	4	木	2	
宗教学概論	日本の宗教学形成過程と宗教性の探求	2	高橋 原	3	金	2	
宗教学基礎講読	ウェスターマルク再読	2	山田 仁史	4	火	2	
宗教学基礎講読	宗教学の基礎理論	2	木村 敏明	3	金	3	
宗教学基礎演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、山田仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫	3	金	5	
宗教学基礎演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、山田仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫	4	金	5	
宗教学基礎実習	宗教学調査法	2	木村 敏明 山田 仁史	3	月	4・5	
宗教学基礎実習	宗教学調査法	2	木村 敏明 山田 仁史	4	月	4・5	
宗教学各論	災害からの再生と宗教文化	2	黒崎 浩行	集中(6)			
宗教学各論	食と性、人類と宗教	2	山田 仁史	5	火	3	
宗教学各論	民俗信仰論	2	小池淳一	集中(5)			
死生学各論	宗教心理学	2	高橋 原	5	水	3	宗教学各論
死生学各論	スピリチュアリティと死生観	2	高橋 原	6	水	3	宗教学各論
死生学各論	死とともに生きることを学ぶ	2	竹之内 裕文	集中(6)			宗教学各論
実践宗教学各論	スピリチュアルケア	2	谷山洋三	5	金	4	宗教学各論
実践宗教学各論	宗教的ケア	2	谷山洋三	6	金	4	宗教学各論
実践宗教学各論	死生学文献講読	2	高橋 原 大村 哲夫	3	水	5	宗教学各論
実践宗教学各論	実践宗教学試論～宗教者によるケア実践（オムニバス）	2	高橋 原 大村 哲夫	4	水	5	宗教学各論
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	Andrews Dale	5	火	4	
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	Andrews Dale	6	火	4	

# 宗教学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
宗教学演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷 山 洋三、大村哲夫	5	金	5	
宗教学演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷 山 洋三、大村哲夫	6	金	5	
宗教学実習	宗教学調査法	2	木村 敏明 山田 仁史	5	月	4・5	
宗教学実習	宗教学調査法	2	木村 敏明 山田 仁史	6	月	4・5	

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：山田 仁史 (准教授)

講義コード：LB44203, 科目ナンバリング：LHM-RES201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：人類精神史としての宗教史

2. Course Title (授業題目)：History of religion as "Geistesgeschichte" of humankind

3. 授業の目的と概要：

人類にとって宗教とは何か。進化、世界、日本を通観し、現代社会の行方をともに考えましょう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

人類史における宗教の見取図を描けるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

以下のように語ってゆきます。

- 1 はじめに：宗教をどうとらえるか
- 2 宗教の進化 (1) 人類史の時代区分
- 3 宗教の進化 (2) 起源と進化の諸仮説
- 4 宗教の進化 (3) 狩猟採集の時代
- 5 世界の宗教 (1) 根源の探究
- 6 世界の宗教 (2) 救済宗教の成立
- 7 世界の宗教 (3) ユーラシア大陸の東西
- 8 日本の宗教 (1) カミ観念の諸相
- 9 日本の宗教 (2) 宗教と倫理・道徳
- 10 日本の宗教 (3) 信仰心と宗教性
- 11 日本の宗教 (4) 創られた伝統
- 12 宗教の現在と未来 (1) 神話とアニミズム
- 13 宗教の現在と未来 (2) 四つの欲求と自己実現
- 14 宗教の現在と未来 (3) 3つのGと3つのR
- 15 おわりに：ロゴス、レンマ、はざま

8. 成績評価方法：

学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のフィードバック（出欠確認を兼ねる。20%）により評価します。

9. 教科書および参考書：

なし。

10. 授業時間外学習：

レポート作成へ向けて、フィールドワークまたは文献調査をしっかりと行ってください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：高橋 原 (教授)

講義コード：LB35207, 科目ナンバリング：LHM-RES201J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：日本の宗教学形成過程と宗教性の探求

2. Course Title (授業題目)：The formation of religious studies in Japan and the search for religiosity

3. 授業の目的と概要：

日本の宗教学の形成過程を振り返りながら、初期の宗教学者たち、また彼らに学んだ人々が宗教というものをどのように把握しようとしていたのかを考える。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course describes the early history of religious studies in Japan, as well as the understanding of religion or religiosity by the intellectuals in Meiji era.

5. 学習の到達目標：

日本人にとって宗教とはなんであるのかという現代の問題意識に結びつけながら宗教学の歴史と基本概念を学ぶ。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will learn the history of religious studies in Japan and basic terms in religious studies, as well as what religion means to Japanese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- (1) イントロダクション
- (2) 姉崎正治の宗教学
- (3) 姉崎正治の宗教学 高山樗牛との交流をめぐって
- (4) 姉崎正治の宗教学 比較宗教学事始
- (5) 姉崎正治の宗教学 民間信仰をめぐって
- (6) 姉崎正治の宗教学 復活の曙光と神秘主義と
- (7) 加藤玄智の宗教学と神道論
- (8) 井上哲次郎と理想教
- (9) 宗教的知識人の動向 松村介石
- (10) 宗教的知識人の動向 村井知至
- (11) 宗教的知識人の動向 成瀬仁蔵
- (12) 宗教的知識人の動向 鶴藤幾太
- (13) 帰一協会と宗教協力運動
- (14) 新仏教運動とその周辺
- (15) 結論

8. 成績評価方法：

期末レポートによる

9. 教科書および参考書：

特に指定しない

10. 授業時間外学習：

配布資料を熟読すること。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

Semester：4, 単位数：2

担当教員：山田 仁史 (准教授)

講義コード：LB42207, 科目ナンバリング：LHM-RES202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：ウェスターマルク再読

2. Course Title (授業題目)：Rereading Westermarck

3. 授業の目的と概要：

民族学者エドワード・ウェスターマルク (1862-1939) の古典的名著『人類婚姻史』を題材に、宗教的信仰や食文化、儀礼の社会的機能などのかかわりの中で、人類の性行動や婚姻のありかたを探ってゆきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

人類文化の多様性と共通性を感じながら、英文を丁寧に読んで内容の理解を深めましょう。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

“Primitive means of attraction” の章を読みすすめます。参加者による発表とディスカッションにより進行します。

8. 成績評価方法：

和訳の発表 (50%) および議論への参加状況 (50%) によって評価します。

9. 教科書および参考書：

Westermarck, Edward, The History of Human Marriage, 5th ed., 3 Vols., London: Macmillan, 1921. 入手方法は初回に指示します。

10. 授業時間外学習：

毎回、自分なりの訳を丁寧に作って参加してください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 3 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：木村 敏明（教授）

講義コード：LB35304, 科目ナンバリング：LHM-RES202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学の基礎理論
2. Course Title (授業題目)：Basic theories of religious Studies
3. 授業の目的と概要：  
この授業は宗教学の基礎的文献を読み、それをもとに討論を行うことで、宗教学の基本的理論と知識を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)  
This course aims to help students gain basic knowledge on the theories of religious studies through reading literature and discussing about it.
5. 学習の到達目標：  
宗教学の基本的理論を身につける  
文献を正確に読み、それに基づいた議論を行うことができるようになる
6. Learning Goals(学修の到達目標)  
To gain knowledge on basic theories of religious studies  
To gain skills of precise reading and discussion
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
以下のトピックに沿ってテキストの読解と討論をおこなう。
  1. インTRODククション
  2. 民間信仰
  3. 民間信仰
  4. 祖先崇拝
  5. 祖先崇拝
  6. シャマニズム
  7. シャマニズム
  8. 儀礼と祭り
  9. 儀礼と祭り
  10. 聖なるもの
  11. 聖なるもの
  12. 死生観
  13. 死生観
  14. 現代宗教
  15. 現代宗教
8. 成績評価方法：  
発表と授業への参加を総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：  
教科書は用いない。その他についてはINTRODUCTIONで指示する。  
A textbook will not be used.
10. 授業時間外学習：  
全員が事前にテキストを熟読してくる。発表者は発表の準備が必要である。  
Students should read text before class.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫（教授、准教授）

講義コード：LB35503, 科目ナンバリング：LHM-RES203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教研究の技法

2. Course Title (授業題目) : How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：

毎回複数の受講生あるいは大学院生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方、班分け
2. 大学院生発表①理論的研究
3. 大学院生発表②実証的研究
4. 学部3年発表 1班
5. 学部3年発表 2班
6. 学部3年発表 3班
7. 学部3年発表 4班
8. 学部3年発表 5班
9. 予備日：学部3年欠席者のため
10. 学部4年発表 1班
11. 学部4年発表 2班
12. 学部4年発表 3班
13. 学部4年発表 4班
14. 学部4年発表 5班
15. 予備日：学部4年欠席者のため

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫（教授、准教授）

講義コード：LB45503, 科目ナンバリング：LHM-RES203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学研究の技法

2. Course Title (授業題目) : How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：

毎回複数の受講生あるいは大学院生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨン：授業の狙いおよび進め方、班分け

2. 学部3年発表 1班

3. 学部3年発表 2班

4. 学部3年発表 3班

5. 学部3年発表 4班

6. 学部3年発表 5班

7. 予備日：学部3年欠席者のため

8. 学部4年発表 1班

9. 学部4年発表 2班

10. 学部4年発表 3班

11. 学部4年発表 4班

12. 学部4年発表 5班

13. 予備日：学部4年欠席者のため

14. 学部2年発表 1班

15. 学部2年発表 2班

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加。

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

Semester : 3, 単位数 : 2

担当教員：木村 敏明, 山田 仁史 (教授・准教授)

講義コード：LB31404, 科目ナンバリング：LHM-RES204J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目) : How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学習の到達目標：

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：宗教学におけるデータとは
3. 第二回：参与観察法
4. 第三回：インタビュー調査法
5. 第四回：質問紙調査法
6. 第五回：文献調査法・情報検索法
7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時, 後期 月曜日 5 講時

Semester: 4, 単位数: 2

担当教員：木村 敏明, 山田 仁史 (教授・准教授)

講義コード：LB41407, 科目ナンバリング：LHM-RES204J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目) : How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学習の到達目標：

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション 後期授業の概要
2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
10. 第九回、前期調査成果発表
11. 第十回、現地調査報告書作成①社会組織と生業
12. 第十一回、現地調査報告書作成②神社・寺院・その他の宗教施設
13. 第十二回、現地調査報告書作成③民間信仰
14. 第十三回、現地調査報告書作成④校正など
15. 第十四回、総括と反省

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

Semester：6, 単位数：2

担当教員：黒崎 浩行（非常勤講師）

講義コード：LB98833, 科目ナンバリング：LHM-RES301J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：災害からの再生と宗教文化

2. Course Title (授業題目) : Disaster and religious culture

3. 授業の目的と概要：

大規模な自然災害が頻発している現在、災害現場での宗教者・宗教団体・宗教文化の役割を問い直すことは重要な課題となっている。この授業では 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災での宗教、特に神社神道と祭礼文化に注目し、災害からの再生におけるその役割を、実践に関わる人々の認識や期待といった面からとらえる。そして、従来から言われてきた「社会的統合」という役割を再考することをめざす。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

災害からの再生における宗教文化の役割について考えるための知識を得る。

災害からの再生における宗教文化の役割について、論点を設定し、議論に加わることができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクションー災害からの再生における宗教文化の役割を考えるための視座
2. 現代日本社会および宗教文化における神社神道・祭礼文化の位置
3. 東日本大震災における諸宗教の支援活動とその課題
4. グループワーク 1
5. 救援期における神社神道の活動
6. 復興の困難さと神社・祭礼
7. 宮城県気仙沼市での調査
8. グループワーク 2
9. 宮城県山元町での調査
10. 岩手県大槌町での調査
11. 福島県浜通り地域での調査
12. グループワーク 3
13. まとめーコミュニティ再生をめぐって
14. まとめー記憶の継承をめぐって
15. まとめー防災・減災への展開をめぐって

講義形式を基本とし、途中で知見・課題を整理・共有するためのグループワークを行う。

8. 成績評価方法：

レポート提出。授業内容をふまえて論点を提示し、自らの知見を加えつつ論述する。4000 字以上。

9. 教科書および参考書：

稲場圭信・黒崎浩行編『震災復興と宗教（叢書 宗教とソーシャル・キャピタル 4）』明石書店、2013 年。

黒崎浩行『神道文化の現代的役割ー地域再生・メディア・災害復興』弘文堂、2019 年。

高倉浩樹・山口睦編『震災後の地域文化と被災者の民俗誌ーフィールド災害人文学の構築』新泉社、2018 年。

福田雄『われわれが災禍を悼むとき』慶應義塾大学出版会、2020 年。

星野英紀・弓山達也編『東日本大震災後の宗教とコミュニティ』ハーベスト社、2019 年。

10. 授業時間外学習：

授業を履修する前に、災害からの再生における宗教文化の役割について記された資料・文献を探索・収集し、読んでおく。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 3講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：山田 仁史 (准教授)

講義コード：LB52309, 科目ナンバリング：LHM-RES301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：食と性、人類と宗教

2. Course Title (授業題目) : Food and sexuality, humankind and religion

3. 授業の目的と概要：

この講義では、人類にとって食べるとはそもそもどういう営みか、を理解することをはじめとし、食文化に関する社会的行動と精神的活動などについて解説する。食人類学において食文化について理解を深めることは、日本ひいては世界の未来を担う一員となる知識を得る上で極めて重要である。これらの観点から、人類史上の食文化を中心として、現状と未来への展望についても詳しく解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

受講生は、人類食文化史の概要を理解する。とくに、その社会面と精神面をあわせて知ることによって「食べる」という営みについての理解を深め、未来を担う国際人に求められる基礎的教養につながる知識を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. はじめに：食べるって何？
2. 「なぜ」と問うことから
3. 食事における享楽派と禁欲派
4. 食と性
5. 3つのリアル
6. 食事をめぐる3つの対話
7. 他者との対話ということ
8. イナゴ食、いかもの喰い
9. 食のタブー
10. 肉食と料理の起源
11. 発火法と起源神話
12. 「衣食住」
13. 言語と思考
14. 嗅覚と触覚がひらく可能性
15. おわりに：食の未来へ向けて

8. 成績評価方法：

毎回のフィードバック (20%) と学期末レポート (80%) により評価する。

9. 教科書および参考書：

参考書：『石毛直道自選著作集』全12巻 (ドメス出版、2011-13年)。

10. 授業時間外学習：

学期末レポートの作成に向けて、フィールドワークまたは文献調査をしっかりとこなってください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：通年集中 その他 連講

Semester：集中， 単位数：2

担当教員：小池淳一（非常勤講師）

講義コード：LB98834， 科目ナンバリング：LHM-RES301J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：民俗信仰論

2. Course Title (授業題目) : Folk religion studies

3. 授業の目的と概要：

生活世界のなかでは、日常の延長として超越的な存在につながる回路がさりげないかたちで配置されている。ここでとりあげる民俗信仰という視点は主として、日本の民俗学の蓄積に基づき、その組み立てとはたらきをとらえるためのものである。その実態や歴史的な展開、機能的な特徴に着目し、現代における意義を考えてみたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

The world of ordinary life is threaded with paths leading to the realm of the transcendental, which are often hidden in plain sight. To uncover these passages from the mundane to the mysterious and explain their structure and functions is the main goal of folk religion studies, the field that builds upon rich findings and methodology of Japanese folkloristics. This course discusses the current state of folk religion studies, their historical development and functional characteristics in order to determine the significance and purpose the field has today.

5. 学習の到達目標：

日常生活における民俗信仰の表出をとらえ、その位相を多角的にとらえることができる姿勢を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students will learn to recognize traces of folk religion in everyday life and explore them from multiple angles.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義の形式で、具体的な史資料を紹介しながらおこなう。適宜、画像・映像などを通して民俗信仰の具体的な姿にふれる。

はじめに一民俗学と宗教学

1 民俗信仰のかたち

〔1〕路傍から 〔2〕山から 〔3〕海から 〔4〕家から

2 民俗信仰の組み立て

〔1〕儀礼と民俗信仰 〔2〕口承文芸と民俗信仰 〔3〕妖怪・精霊と民俗信仰

3 民俗信仰と宗教史

〔1〕仏教民俗 〔2〕修験道と民俗 〔3〕陰陽道と民俗

4 民俗信仰の生成

〔1〕巫俗とまじない 〔2〕書物と知識人 〔3〕流行と構造

おわりに一まとめ：民俗信仰論の位置

8. 成績評価方法：

授業への参加度 (50%)・レポート (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は特に使用しない。参考文献を講義中に提示するので、なるべく自分で確かめること。

10. 授業時間外学習：

授業中に指示された文献に出来る限りアプローチする。また自己の日常を凝視し、民俗信仰としてとらえることができるような事象の発見と定位とを意識する。想定学修時間：1回の授業につき予復習ともに2時間以上が必要。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：高橋 原 (教授)

講義コード：LB53314, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：宗教心理学

2. Course Title (授業題目)：Psychology of Religion

3. 授業の目的と概要：

W・ジェームズ、S・フロイト、C・G・ユング等の古典的な心理学者たちの議論を踏まえて、トランスパーソナル心理学などへの展開も視野に収める。また、キリスト教世界における回心体験やエクソシズム、吉本内観など日本の宗教的心理療法の事例をとりあげながら、宗教の持つ意味を人間心理の側面から考える。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Students will learn about the classical theories of psychologists of religion, such as, Willam James, Sigmund Freud, or Carl Gustav Jung, as well as the theory of transpersonal psychology. This will help students understand the meaning of religion in terms of human psyche. In the lecture, religious conversion, exorcism, and naikan ryoho will be referred to.

5. 学習の到達目標：

心理学者たちの思想的営みと基本概念を学び、宗教が人間心理に及ぼす影響を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Student will learn the thought of psychologists and basic theory of their system, in order to understand how religion effects human psyche.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回：イントロダクション 人間の心と宗教
- 第2回：回心と意識変容(1) 近代アメリカの宗教事情と初期の回心研究
- 第3回：初期の日本の宗教学と回心研究
- 第4回：ウィリアム・ジェームズの宗教論(1) 健全な心と病める魂
- 第5回：ウィリアム・ジェームズの宗教論(2) 潜在意識仮説とプラグマティズム
- 第6回：フロイトの宗教論(1) 前史：メスメリズムと催眠術
- 第7回：フロイトの宗教論(2) 抑圧理論と宗教論
- 第8回：悪魔祓と原始的な心理療法について
- 第9回：ユングの宗教論(1) コンプレックスと連想実験
- 第10回：ユングの宗教論(2) イメージとヴィジョン
- 第11回：ユングの宗教論(3) 神話と意識の進化
- 第12回：トランスパーソナル心理学と宗教(1) ライフサイクル論と宗教意識
- 第13回：トランスパーソナル心理学と宗教(2) 意識変容と宗教
- 第14回：宗教から心理療法へ 吉本内観を例に
- 第15回：論点振り返り 人間心理と宗教体験

以上の大筋に添って、死生学的観点から考察を加える。(1)

8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーの内容と、期末レポートによる。

9. 教科書および参考書：

特に指定しない。

10. 授業時間外学習：

配布資料を熟読し、理解を深める。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

毎回授業内で課題を出すのでミニットペーパーで回答すること。

**科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)**

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：高橋 原 (教授)

講義コード：LB63312, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

**【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】**

1. 授業題目：スピリチュアリティと死生観

2. Course Title (授業題目)：Spirituality and View of Death and Life

3. 授業の目的と概要：

世界保健機関における健康定義の議論や、鈴木大拙、C・G・ユング、キューブラ＝ロスなどを参考に、医学や心理学の領域で蓄積されてきた死生観とスピリチュアリティについての多様な見解を紹介しながら考察する。具体的な事象への応用としては、お迎え現象、臨死体験、修行の心理などの他、遠藤周作やル＝グウィンなどの文学作品を取り上げて検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Views on soirituality, or death and life, will be considered, referring to WHO definition of health, writings of Daisetsu Suzuki, C. G. Jung, and E. K. Ross. Also referred to are bedside vision of the dead, near death experience, Shusaku Endo, or Ursula Kroeber Le Guin.

5. 学習の到達目標：

スピリチュアリティと宗教という視点から、人間の生と死について理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will understand death and life interms of spirituality and religion.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：イントロダクション スピリチュアリティとは何か

第2回：宗教とスピリチュアリティ

第3回：世界保健機関の健康定義とスピリチュアリティ

第4回：鈴木大拙『日本的靈性』とスピリチュアリティ

第5回：C・G・ユングとスピリチュアリティ

第6回：キューブラ＝ロスの臨死体験論とスピリチュアリティ

第7回：チベット死者の書とスピリチュアリティ

第8回：お迎え現象と日本人のスピリチュアリティ

第9回：心霊現象とスピリチュアリティ

第10回：修行とスピリチュアリティ

第11回：近代日本の知識人とスピリチュアリティ(1)明治期

第12回：近代日本の知識人とスピリチュアリティ(2)大正期

第13回：文学作品に見るスピリチュアリティ(1)遠藤周作

第14回：文学作品に見るスピリチュアリティ(2)ル＝グウィン

第15回：論点振り返り スピリチュアリティと現代

8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーと期末レポートによる。

9. 教科書および参考書：

窪寺敏之『スピリチュアリティ学概説』三輪書店、2008年、他、適宜授業内で指示する。

10. 授業時間外学習：

テキスト、配布資料を熟読する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

毎回授業内で課題を与えるのでミニットペーパーにより回答すること。

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期集中 その他 連講

Semester：集中 (6), 単位数：2

担当教員：竹之内 裕文 (非常勤講師)

講義コード：LB98835, 科目ナンバリング：LHM-RES307J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：死とともに生きることを学ぶ

2. Course Title (授業題目) : Cultivating the Wisdom of a Mortal Human Life

3. 授業の目的と概要：

なぜ死生学という学問が誕生したのかというところから始め、終末期医療、在宅での看取りといった現代医療の問題や、大震災被災地での支援、老人介護など、超高齢多死社会といわれる現代生活の多様な局面を取り上げながら、誰もがケアの担い手になり得るという現実を理解し、それぞれの立場から人間の生と死を取り巻く諸問題にどのように対処していけばよいのかを考察する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course describes the origins and purposes of the discipline of thanatology and covers various problems and challenges faced by modern medicine, such as an increasing demand for terminal care and home health nursing. Today, we are asked to provide care and support in multiple and varied circumstances: as volunteers in the areas affected by the Great East Japan Earthquake, as elderly care workers, etc. Ultimately, any member of our super-aged, mass death society may find him- or herself in the position of a caregiver. This course aims to prepare students for this role and give each of them an opportunity to look for his or her personal way to address a range of issues related to human life and death.

5. 学習の到達目標：

① 対話スタイルで進められる講義を通して、対話的探究の楽しさと可能性を身をもって学び、対話の精神と技法を習得する。

② テキストや他の受講者との対話を通して、死とともに生きる自分なりの知恵を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will learn the key concepts of thanatology and gain a deeper insight into present-day issues concerning life and death. Students are expected to:

1) discover the joys, as well as effectiveness, of dialogic inquiry through interactive, dialogic l

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1) ガイダンス：講義の目的と進め方、導入としてのもしバナゲーム

2) ワールドカフェ ある死別の経験から (序章)

3) 映画『生かされて生きる』鑑賞

4) テキストをめぐる対話① 重度障害者自立ホームから (第1章)

5) テキストをめぐる対話② 在宅緩和ケアの現場から (第2章)

6) 死生学カフェ①

7) テキストをめぐる対話③ 死者と共にある農村との出会い (第3章)

8) テキストをめぐる対話④ いのちに気づかって生き、死ぬ (第4章)

9) 死生学カフェ②

10) テキストをめぐる対話⑤ 共に生きること、本当に生きること (第5章)

11) テキストをめぐる対話⑥ 森と湖の国の「福祉」 (第6章)

12) 死生学カフェ③

13) テキストをめぐる対話⑦ ホスピス運動の源流を辿る (第7章)

14) テキストをめぐる対話⑧ 死とともに生きることを学ぶ～哲学と対話 (終章)

15) 死生学カフェ④

8. 成績評価方法：

ポイント制とします。試験やレポートはありません。

1. 「テキストをめぐる対話」(全8回)の準備作業として、受講者は各回の講義冒頭にフィードバックシート(テキスト各章の要旨、着眼・疑問・意見、希望する対話テーマを記載する)を提出します。これをすべて遺漏なく提出すると、8点満点×8回=64点のポイントを獲得します。

2. 全体対話での発言については、これを対話的探究への寄与と位置づけ、1回あたり3点を加算します。

9. 教科書および参考書：

講義担当者の単著『死とともに生きることを学ぶ 哲学と対話』(ポラーノ出版 2019)をテキストとして使用します。宗教学研究室にて割引価格で購入できるように手配します。

The course is based on the instructor's book:

Takenouchi Hirobumi. Shi to Tomo ni Ikiru Koto wo Manabu: Tetsugaku to taiwa (Polano Shuppan, 2019)

The book can be purch

10. 授業時間外学習：

講義テキストを事前に読み、序章から終章について、それぞれフィードバックシートに記入してもらいます。Students are

required to read the assigned texts in advance and fill in all feedback sheets (eight in total).

**1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

**1 2. その他 :**

きちんと準備して臨めば、きっと楽しい授業となるでしょう。母校での対話的探究を楽しみにしています。死生学カフェについては次の URL を参照ください。 <https://www.facebook.com/shiseigakucafeshizuoka/>

You will surely enjoy this class provided that you come prepared. I look forward to engaging in dialogic inquiry at my alma mater. To

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

Semester : 5, 単位数 : 2

担当教員：谷山洋三（准教授）

講義コード：LB55407, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：スピリチュアルケア

2. Course Title (授業題目) : Spiritual Care

3. 授業の目的と概要：

国内のスピリチュアルケアの議論に触れつつ、その多様性と課題を確認した上で、臨床宗教師が誕生した背景、スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違、両ケアの共通性としての宗教的資源の活用など、ケア実践の具体像に迫るとともに、体験的ワークにより理解を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Discussing the debates on spiritual care in Japan and confirming its diversity and challenges; such as the background of the birth of Rinsho-shukyo-shi, or interfaith chaplain, the difference between spiritual care and religious care, and the utilization of religious resources as the commonality of both cares, The students will explore the specifics of care practice and deepen their understanding through a workshop.

5. 学習の到達目標：

公共空間で提供されるスピリチュアルケアについて、その理念と方法を理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students better understand spiritual care provided in public spaces and its philosophy and methods.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：オリエンテーション

第2回：チャプレンとビハーラ僧

第3回：「臨床宗教師」の誕生

第4回：生活の中にある心のケア

第5回：スピリチュアルペイン

第6回：スピリチュアルな探求

第7回：「支える」「気づいてもらう」スピリチュアルケア

第8回：「新しい枠組みを作る」「無力による」スピリチュアルケア

第9回：宗教的資源の活用

第10回：宗教的ケア

第11回：臨床宗教師の可能性

第12回：臨床宗教師の資質

第13回：ワークショップ「死の体験」

第14回：ワークショップ振り返り

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]

9. 教科書および参考書：

教科書：谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年

参考書：鎌田東二編『講座スピリチュアル学第1巻』ビイニング・ネット・プレス、2014年

10. 授業時間外学習：

授業内で指示する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：谷山洋三（准教授）

講義コード：LB65407, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：宗教的ケア

2. Course Title (授業題目) : Religious Care

3. 授業の目的と概要：

臨床宗教師のモデルである欧米のチャプレン制度とその源泉となる思想を概観し、軍隊、刑務所、学校、病院などでの実践とその意義を考察する。教科書を精読して、国内での臨床宗教師の活動、寺社教会での宗教的資源を活用したケアの可能性も検討する。また、体験的ワークによりケア実態の理解を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Students overview the chaplaincy in western countries, which is a model of "Rinsho-shukyo-shi", or interfaith chaplain, through their specifics of care practice in the military, prisons, schools, and hospitals, The activities of "Rinsho-shukyo-shi" in Japan and the possibility of taking care of religious resources in churches, temples and shrines will also be considered carefully through the textbook. In addition, the students deep understand such care through a workshop.

5. 学習の到達目標：

臨床宗教師が提供する宗教的ケアについて、その理念と方法を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students better understand religious care, its principal and methods provided by chaplains in public spaces .

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：オリエンテーション

第2回：ケアとしての宗教

第3回：橋を架け絆を強めるケア

第4回：教誨師と更生活動

第5回：スピリチュアルケアのプラクシスとその宗教的基盤

第6回：自死対策における宗教者の役割

第7回：ソーシャル・キャピタルとしての天理教親里活動の可能性

第8回：鎮守の森に保育園があることの可能性

第9回：医療における宗教者の役割

第10回：心のケアと魂のケア

第11回：欧米のチャプレン制度

第12回：日本での宗教的ケアの可能性

第13回：ワークショップ「ペトロロスと読経」

第14回：ワークショップ振り返り

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]

9. 教科書および参考書：

教科書：葛西健太ほか編『ケアとしての宗教』明石書店、2013年

参考書：窪寺俊之『スピリチュアルケア学概説』三輪書店、2008年

谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年

10. 授業時間外学習：

教科書を精読するため、第3回から第10回までは担当を決めて要約、レジュメ作成し、発表する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

実践宗教学各論 I を履修済みであることが望ましい。

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

Semester : 3, 単位数 : 2

担当教員：高橋 原, 大村 哲夫 (教授・准教授)

講義コード：LB33503, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：死生学文献講読

2. Course Title (授業題目) : Readings: Death and Life Studies

3. 授業の目的と概要：

グリーフケアに関する文献を読み、現代人の生活の諸局面に現われる悲嘆とそのケアの方法と問題点について基礎的な知識を得る。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

Students will read literature on the history and culture related to grief care.

5. 学習の到達目標：

悲嘆を抱える人々に対してどのような方法で接することがケアという観点から有効であるのか、事例を踏まえて理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students learn the history and culture related to grief care, in order to understand effective method of care for the bereaved. .

7. 授業の内容・方法と進度予定：

島菌進『ともに悲嘆を生きる グリーフケアの歴史と文化』(朝日新聞出版 2019) を読み進める。適宜、カウンセリングの宗教性についての指定論文をとりあげる。

学生は担当箇所についての要約発表を行い、授業内でディスカッションを行なう。

(1) イントロダクション

(2) 【第 1 章】 悲嘆が身近になる時代

(3) 【第 2 章】 グリーフケアと宗教の役割

(4) 【第 3 章】 グリーフケアが知られるようになるまで

(5) 【第 4 章】 グリーフケアが身近に感じられるわけ

(6) ディスカッション(1)

(7) 【第 6 章】 悲しみを分かち合う「うた」

(8) 【第 5 章】 悲嘆を物語る文学

(9) 【第 7 章】 戦争による悲嘆を分かち合う困難

(10) 【第 8 章】 悲嘆を分かち合う形の変容

(11) ディスカッション(2)

(12) カウンセリングと宗教論文(1)

(13) カウンセリングと宗教論文(2)

(14) カウンセリングと宗教論文(3)

(15) ディスカッション(3)

8. 成績評価方法：

出席回数と発表内容により総合に評価する。

9. 教科書および参考書：

島菌進『ともに悲嘆を生きる グリーフケアの歴史と文化』(朝日新聞出版 2019) なるべく各自購入すること。

サブテキスト 高木慶子編『グリーフケア入門』勁草書房 2012

10. 授業時間外学習：

指定テキストを熟読すること。発表担当者はレジュメを用意すること。詳細は初回に指示する。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：高橋 原, 大村 哲夫 (教授・准教授)

講義コード：LB43503, 科目ナンバリング：LHM-RES308J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：宗教学各論】

1. 授業題目：実践宗教学試論～宗教者によるケア実践 (オムニバス)
2. Course Title (授業題目)：Introduction to Practical Religious Studies
3. 授業の目的と概要：  
宗教者が公共空間でケア従事者の役割を果たすために何が必要なのか。生老病死をめぐる現代日本社会の諸状況を踏まえて課題と可能性を学ぶ。宗教者を含む実務者をゲスト講師に招き、オムニバス形式で行なう。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)  
This class is an omnibus lecture series. Students will learn about how various professionals, including religious professionals, are tackling with the problems that contemporary society is facing.
5. 学習の到達目標：  
さまざまな実践例から、ケアの諸相を理解し、現代日本社会が直面している問題について理解する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)  
Students will learn how religious professionals cooperate with other professionals in dealing with various problems in terms of care.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - (1) 臨床宗教師の理念
  - (2) グリーフケアと宗教
  - (3) カフェ・デ・モンク (宗教者による被災地支援の実情)
  - (4) スピリチュアルケアと宗教的ケア
  - (5) 終末期医療と宗教者
  - (6) 臨床心理学と宗教
  - (7) 民間信仰論
  - (8) 宗教間対話
  - (9) 臨床宗教師の実践報告(1)
  - (10) 臨床宗教師の実践報告(2)
  - (11) 臨床宗教師の実践報告(3)
  - (12) 臨床宗教師の実践報告(4)
  - (13) 臨床宗教師の実践報告(5)
  - (14) 臨床宗教師の実践報告(6)
  - (15) 臨床宗教師の実践報告(7) (1)Introduction; On interfaith chaplaincy
8. 成績評価方法：  
出席とミニットペーパーによる。
9. 教科書および参考書：  
指定しない。
10. 授業時間外学習：  
指示があった場合、指定文献を読むこと。
11. 実務・実践的授業/Practical business：○  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

Semester：5, 単位数：2

担当教員：Andrews Dale (非常勤講師)

講義コード：LB52406, 科目ナンバリング：LHM-RES303E, 使用言語：英語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America

2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America

3. 授業の目的と概要：

In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.

5. 学習の到達目標：

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor

6. Learning Goals(学修の到達目標)

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 回目

【事前学修】Peruse the textbook.

【授業内容】Class Guidance.

【事後学修】Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.

2 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

3 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

4 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

5 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

6 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

7 回目

【事前学修】Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and

expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

8回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

9回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

10回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

11回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

12回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

13回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

14回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

15回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

## 8. 成績評価方法：

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

## 9. 教科書および参考書：

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007); "Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

## 10. 授業時間外学習：

3 to 5 hours per week of out of class study is required.

## 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

## 12. その他：

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：Andrews Dale (非常勤講師)

講義コード：LB62407, 科目ナンバリング：LHM-RES303E, 使用言語：英語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America

2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America

3. 授業の目的と概要：

In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.

5. 学習の到達目標：

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor

6. Learning Goals(学修の到達目標)

After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 回目

【事前学修】 Peruse the textbook.

【授業内容】 Class Guidance.

【事後学修】 Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.

2 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

3 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

4 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

5 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

6 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

7 回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and

expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

8回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

9回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

10回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

11回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

12回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

13回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

14回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

15回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

## 8. 成績評価方法：

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

## 9. 教科書および参考書：

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007); "Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

## 10. 授業時間外学習：

3 to 5 hours per week of out of class study is required.

## 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

## 12. その他：

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫（教授、准教授、教授、准教授）

講義コード：LB55502, 科目ナンバリング：LHM-RES304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教研究の技法

2. Course Title (授業題目) : How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：

毎回複数の受講生あるいは大学院生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨン：授業の狙いおよび進め方、班分け

2. 大学院生発表①理論的研究

3. 大学院生発表②実証的研究

4. 学部3年発表 1班

5. 学部3年発表 2班

6. 学部3年発表 3班

7. 学部3年発表 4班

8. 学部3年発表 5班

9. 予備日：学部3年欠席者のため

10. 学部4年発表 1班

11. 学部4年発表 2班

12. 学部4年発表 3班

13. 学部4年発表 4班

14. 学部4年発表 5班

15. 予備日：学部4年欠席者のため

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：木村 敏明、山田 仁史、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫（教授、准教授、教授、准教授）

講義コード：LB65502, 科目ナンバリング：LHM-RES304J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学研究の技法

2. Course Title (授業題目) : How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：

毎回複数の受講生あるいは大学院生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクション：授業の狙いおよび進め方、班分け

2. 学部3年発表 1班

3. 学部3年発表 2班

4. 学部3年発表 3班

5. 学部3年発表 4班

6. 学部3年発表 5班

7. 予備日：学部3年欠席者のため

8. 学部4年発表 1班

9. 学部4年発表 2班

10. 学部4年発表 3班

11. 学部4年発表 4班

12. 学部4年発表 5班

13. 予備日：学部4年欠席者のため

14. 学部2年発表 1班

15. 学部2年発表 2班

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加。

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

Semester : 5, 単位数 : 2

担当教員：木村 敏明, 山田 仁史 (教授・准教授)

講義コード：LB51406, 科目ナンバリング：LHM-RES306J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目) : How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学習の到達目標：

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：民間信仰の基礎 社会組織と講
3. 第二回：民間信仰の基礎 年中行事①
4. 第三回：民間信仰の基礎 年中行事②
5. 第四回：民間信仰の基礎 人生儀礼①
6. 第五回：民間信仰の基礎 人生儀礼②
7. 第六回：民間信仰の基礎 神社と寺院
8. 第七回：民間信仰の基礎 民話と伝説
9. 第八回：民間信仰の基礎 民間信仰の現在
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

**科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)**

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時、後期 月曜日 5 講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：木村 敏明, 山田 仁史 (教授・准教授)

講義コード：LB61407, 科目ナンバリング：LHM-RES306J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

**1. 授業題目：宗教学調査法**

**2. Course Title (授業題目)：**How to research religions: from planning to fieldwork

**3. 授業の目的と概要：**

他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

**4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)**

It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

**5. 学習の到達目標：**

- (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
- (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

**6. Learning Goals(学修の到達目標)**

This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. イントロダクション 後期授業の概要
2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
10. 第九回、前期調査成果発表
11. 第十回、現地調査報告書作成①社会組織と生業
12. 第十一回、現地調査報告書作成②神社・寺院・その他の宗教施設
13. 第十二回、現地調査報告書作成③民間信仰
14. 第十三回、現地調査報告書作成④校正など
15. 第十四回、総括と反省

**8. 成績評価方法：**

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

**9. 教科書および参考書：**

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

**10. 授業時間外学習：**

授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.

**11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**